

# 三心を磨く

学校だより NO. 3

平成29年 5月11日(木) 発行

須坂市立 東 中学校

文責：金井 勝久(教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

## 5月の校長講話

### 美しい学校

みなさん、おはようございます。

5月に入り、過ごしやすい季節となってきました。また先日、1年生に「中学校の生活や新しい学級はどうですか」と尋ねたところ、「とても楽しいです。みんな仲良く頑張っています」と答えてくれました。東中学校のすべての生徒が、そのような気持ちで、今、この場に集まってくれていることを願っています。また4月7日に、生徒会主催の生活オリエンテーションがありました。私は会議で出張しており参加することはできませんでしたが、各委員会が1年生にも分かりやすいようにプレゼンを工夫して発表してくれ、全校生徒が、挨拶、清掃、給食当番等について、平成29年度の出発にあたり共通理解することができたと報告を受けています。生徒会役員のみなさん、ありがとうございました。お陰様で、清掃も昨年より静かに取り組んでいると思いますし、昇降口の傘の入れ方も、具体的に写真を交えて掲示していただいておりますので、乱雑にならずにきれいにしています。これからも、この状態を続けたいものです。

さて本日の校長講話は、「美しい学校」ということについて、お話ししたいと思います。みなさんは「美しい学校」と言われたときに、どのような学校を思い浮かべるでしょうか。

近代的なデザインで、設備の整っている学校でしょうか。

清掃が行き渡り、ごみが落ちていない学校でしょうか。

壊されたり落書きされたりしていない学校でしょうか。

清掃が行き渡っていること、ごみが落ちていないこと、落書きや壊れているところがないこと、確かに大切なことだと思いますし、日ごろから、皆さんも気をつけてくれていると思います。

そこで今日は、私が考える「美しい学校」について、みなさんに話をし、このような学校にして欲しいという校長としての願いを、大きく2つに分けてお話しします。



私は以前に、多くの学校を訪問して、先生方や児童生徒のみなさんの授業を見させていただく仕事を、3年間していました。その間、約200校、500の教室で授業を参観させていただきました。多くの学校を訪問する中で、「美しい学校」ということについて、感じたこと、学ばせていただいたことがあります。

一つは、校舎内外の「環境整備」についてです。私が考える「美しい学校」の、環境整備面での特徴は2つです。

一つ目は、みなさんも考えてくれたと思いますが、清掃がよくゆきとどき、紙くず等が落ちていない学校です。汚れた教室では、学習意欲は湧いてきません。みなさんも、勉強するぞと意気込んで自分の部屋に行ったら、机の上が乱雑に散らかっていて、急にやる気をなくしてしまったという経験があると思います。きれいに整えられた環境の中で学習してこそ、気持ちよく学習に打ち込むことができるものです。しかもこのような清掃の行き届いた学校では、四角い教室を四角く清掃しており、決して四角い教室を丸くは清掃してありません。この意味をよく考えて欲しいと思います。

二つ目は、一つ一つのけじめがしっかりできている学校です。一日の終わりは、明日へのスタート、1時間の終わりは、次の時間へのスタートです。一つ一つのけじめをつけ、終わりを整えることは、次の始まりを考えることにつながります。具体的に言いますと、授業の終わり、一日の終わ



りに、物が置くべきところに戻され、次のスタートを考えて整理整頓がなされているということです。終わりが、始まったときと同じ状態に整理され、必要なときに、すぐに道具が準備でき、能率的に学習や活動が進められることが大切です。みなさんも、何かをやろうとしたときに、必要なものがなくて、探しているうちにやる気をなくしてしまったという経験があるのではないのでしょうか。このことは、単なる整理整頓だけでなく、物を大切にすることにつながります。

私が「美しい学校」と考える学校の環境整備について、2つの特徴をあげました。共通していることは、「整えられた学校」ということです。

次に、ある学校にお邪魔したときに、2年生のある教室が、保健体育の授業で空き教室になっていました。教室の中を見ると、一人一人の制服やワイシャツが、きれいにたたまれて机の上に整然と乗せられていました。机やイスもまっすぐに並べられて整頓されています。学級担任の先生に、「素晴らしく整っていますね」と声をかけたところ、その先生は次のように話をしてくださいました。「うちのクラスは、クラスマッチでも、合唱コンクールでも、いつも学年では勝てないんです。何か他のクラスに負けないことを作ろうと、学級みんなで話し合い考えたことが、空き教室になるときの、教室の整理整頓です。学校中で一番の整理整頓ができるクラスにしようと決めたのです。」と言うのです。「誰も見ていない空き教室を、学校中で一番の教室にする」。私は、この学級の生徒のみなさんの気高さ、気品を感じました。そして、このような生徒がいる学校を、私は「美しい」と感じました。

私は、時間のある時は、みなさんの教室を回り、授業の様子を見せてもらっています。授業を見せてもらいに教室に入ると、その教室、クラスのもつ雰囲気を感じられます。雰囲気というより、そのクラスの空気、といった方がよいのかもしれませんが、やる気に満ちているクラスだなと感じたり、しっとりとした空気が漂っている学級だなと感じたり、きりっとした緊張感がある学級だなと感じたりすることがあります。それは、みなさんの、明るさであったり、やさしさであったり、物事に向かう真摯な姿勢であったり、やる気に満ちて授業に向かう態度であったりします。それが集まると、学級の雰囲気、空気になります。さらにそれが集まると、学校の雰囲気、空気になります。みなさん一人一人の、気高さ、気品ある姿が、「美しい学校」を創っているのです。



「美しい学校」

それは、「整えられている学校」。そして、「生徒のみなさんの気高さと気品ある姿」です。このような姿の見られる東中学校にして欲しいと願っています。

最後になりますが、先日、3年生の修学旅行に一緒に行かせてもらいました。3年生のみなさんの行動がとても素晴らしく「気品」を感じることができ、とてもうれしく思いました。これから学校生活の中でも、気品ある行動を心がけてください。期待しています。

★ 学校長の講話を聞く全校生徒の姿や様子、その中でも「美しい学校」を感じさせてくれるエッセンスがありました。話にうなずく生徒、友達とうなずき合う生徒もいました。写真は、1学年の生徒や下駄箱、放課後の教室を撮ったものです。先輩たちの姿をみて自分たちの生活や文化に取り入れようとする1年生の姿に期待しています。